

## 算数オンライン塾 5月8日の問題解説

---

(1) 差が9になるものは(9、0)の組み合わせだけで、差が8になるものは(9、1)と(8、0)です。真ん中の数(10の位の数)は共通しなければならないので、真ん中が9のときは、190となり、真ん中の数が0のときは809となります。

(答え) 190、809

(2)

一番最後の数が9のとき、その上は09か90になります。

09の時はAA0でAが9しかないので990

90のときは9AAでAが0しかないので、900

(答え) 900、990

(3) 最後が8の時、その上は(9、1)か(8、0)です。

91のとき、一番上の数は901

19のとき、一番上の数は109、890

08のとき、一番上の数は880、991、119、

80のとき、一番上の数は800、911、199

となるので9個

(答え) 9個

(4)

3段目が901のとき、4ケタの数は9001

3段目が109のとき、4ケタの数は8990、1009

3段目が890のとき、4ケタの数は1900、8099

3段目が880のとき、4ケタの数は8088、9199、1911

3段目が991のとき、4ケタの数は9098

3段目が119のとき、4ケタの数は9890、7890、2109

3段目が800のとき、4ケタの数は1999、9111、8000、

3段目が911のとき、4ケタの数は9012、9010、

3段目が199のとき、4ケタの数は1090、8909、

でこれ以外に3ケタのところでは100の位が0であったものを(3)では除外していません。これを戻すと

3段目が098のとき、4ケタの数は9908

3段目が088のとき、4ケタの数は9919、1191、8808

3段目が008のとき、4ケタの数は8880、1119、9991

となるので、以上26個

(答え) 26個